



題字 <sup>なかの</sup>中野 <sup>りな</sup>里南さん (手稲西中学校2年1組)

2月号  
平成14年

# 一針、一針、優しい 思いを込めて

## 布の絵本作成グループ 「布の絵本の仲間たち」

ほりおか <sup>ゆりこ</sup>  
**堀岡 百合子さん**



カラフルな布地を使った「布の絵本」を作っている「布の絵本の仲間たち」。新発寒地区センターで白石区在住の武田慶子<sup>ただけいこ</sup>さんが行っていた「布の絵本」教室がきっかけとなってできたグループです。メンバーの堀岡さんは「布で作った絵本には独特の柔らかさとぬくもりがあるんですよ。絵本はフェルトやマジックテープを使っています。手で触れて遊ぶものや、ストーリーのあるものなど種類もさまざまです。自分の作品を孫にプレゼントしたら、とても喜んでもらえました」と、その魅力を語ります。メンバーの皆さんは、毎月第2火曜日に同センターで例会を開き、作品の新しいアイデアを交換するそうです。「メンバーの作品の一部は新発寒地区センターの図書室で見ることができます。作品を見て関心を持たれた方は私たちの例会にも来てみてください」と、にこやかに話す堀岡さんでした。

▲作品を手に、堀岡さん(左)とグループ仲間の角田麗子<sup>かくだれいこ</sup>さん。「アイデアを考えたり、布を縫い合わせている時は優しい気持ちになれますね」



◀温かさの伝わる作品の数々。グループは現在10人で活動中。新しい仲間も募集中とのこと